

貸借対照表

(平成28年3月31日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流動資産	3,114,318	流動負債	2,708,508
現金及び預金	1,808,216	買掛金	549,781
売掛金	226,737	一年内返済予定の長期借入金	549,289
商品	41,041	リース債務	45,607
食材	89,923	割賦未払金	111,300
貯蔵品	7,781	未払金	361,399
前払費用	201,339	設備関係未払金	137,577
繰延税金資産	50,468	未払費用	428,684
未収入金	22,950	未払消費税等	50,513
未収法人税	21,128	預り金	297,966
その他	644,731	前受収益	74,857
固定資産	10,230,065	賞与引当金	72,612
有形固定資産	6,033,460	転貸損失引当金	7,537
建物	1,981,671	その他	21,381
構築物	78,320	固定負債	5,120,319
機械及び装置	1,152	長期借入金	4,008,827
車両運搬具	291	リース債務	96,437
工具器具備品	216,042	長期割賦未払金	406,122
土地	3,623,720	退職給付引当金	171,331
リース資産	128,973	役員退職慰労引当金	318,495
建物仮勘定	3,288	転貸損失引当金	43,152
無形固定資産	105,844	長期預り保証金	75,954
ソフトウェア	84,111	負債合計	7,828,827
電話加入権	18,507	純資産の部	
水道施設利用権	631	株主資本	5,532,819
リース資産	2,593	資本金	3,182,385
投資その他の資産	4,090,760	資本剰余金	2,537,261
投資有価証券	56,917	資本準備金	147,735
関係会社株	441,126	その他資本剰余金	2,389,525
関係会社出資金	210	利益剰余金	△117,478
長期貸付金	1,000	利益準備金	12,633
関係会社長期貸付金	8,309	その他利益剰余金	△130,112
関係会社長期貸付金	1,136,332	繰越利益剰余金	△130,112
繰延税金資産	16,042	自己株式	△69,349
敷金及び保証金	83,956	評価・換算差額等	△17,262
その他	2,306,046	その他有価証券評価差額金	△17,262
貸倒引当金	45,459		
	△4,641	純資産合計	5,515,556
資産合計	13,344,384	負債純資産合計	13,344,384

(注) 記載金額は表示単位未満を切り捨てて表示しております。

損 益 計 算 書

(平成27年4月1日から
平成28年3月31日まで)

(単位：千円)

科 目	金	額
売 上 高 価		15,770,486
売 上 原 価		5,284,645
売 上 総 利 益		10,485,841
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		10,118,643
営 業 利 益		367,198
営 業 外 収 益		112,610
受 取 利 息 及 び 配 当 金	67,221	
受 取 地 代 家 賃	9,844	
貸 倒 引 当 金 戻 入 額 他	714	
そ の 他	34,830	
営 業 外 費 用		98,978
支 払 利 息	90,553	
支 払 手 数 料	2,000	
賃 貸 収 入 原 価 他	5,832	
そ の 他	592	
経 常 利 益		380,830
特 別 利 益		9,104
投 資 有 価 証 券 売 却 益	112	
転 貸 損 失 引 当 金 戻 入 額 金	8,189	
受 取 保 険 金	803	
特 別 損 失		51,350
固 定 資 産 除 却 損 失	29,853	
減 損	19,274	
賃 貸 借 契 約 解 約 損 失	2,222	
税 引 前 当 期 純 利 益		338,584
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	59,288	
法 人 税 等 調 整 額	△2,134	57,154
当 期 純 利 益		281,429

(注) 記載金額は表示単位未満を切り捨てて表示しております。

株主資本等変動計算書

(平成27年4月1日から
平成28年3月31日まで)

(単位：千円)

	株 主 資 本			
	資 本 金	資 本 剰 余 金		
		資本準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計
当 期 首 残 高	3,182,385	147,735	2,389,525	2,537,261
当 期 変 動 額				
当 期 純 利 益				
自己株式の取得				
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)				
当 期 変 動 額 合 計	—	—	—	—
当 期 末 残 高	3,182,385	147,735	2,389,525	2,537,261

	株 主 資 本				
	利 益 剰 余 金			自己株式	株主資本 合計
	利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計		
当 期 首 残 高	12,633	△411,541	△398,907	△68,830	5,251,908
当 期 変 動 額					
当 期 純 利 益		281,429	281,429		281,429
自己株式の取得				△518	△518
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当 期 変 動 額 合 計	—	281,429	281,429	△518	280,910
当 期 末 残 高	12,633	△130,112	△117,478	△69,349	5,532,819

(単位：千円)

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当 期 首 残 高	△2,192	△2,192	5,249,715
当 期 変 動 額			
当 期 純 利 益			281,429
自己株式の取得			△518
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△15,070	△15,070	△15,070
当 期 変 動 額 合 計	△15,070	△15,070	265,840
当 期 末 残 高	△17,262	△17,262	5,515,556

(注) 記載金額は表示単位未満を切り捨てて表示しております。

個別注記表

貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び注記は、会社法及び会社計算規則に基づき記載しております。

1. 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

2. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

① 子会社株式及び関連会社株式

移動平均法による原価法によっております。

② その他有価証券

時価のあるもの

期末決算日の市場価格等に基づく時価法(評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)によっております。

時価のないもの

移動平均法による原価法によっております。

(2) たな卸資産の評価基準及び評価方法

① 商品・食材

総平均法による原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)によっております。

② 貯蔵品

最終仕入原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)によっております。

(3) 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産(リース資産を除く)

定率法を採用しております。

ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物(建物附属設備を除く)については、定額法を採用しております。

なお、主な耐用年数は、以下のとおりであります。

建物及び構築物 10年～39年

機械及び装置 4年～15年

工具器具備品 5年～6年

また、有形固定資産の取得価額が10万円以上20万円未満の資産については、3年間で均等償却する方法を採用しております。

なお、平成19年3月31日以前に取得した資産については、償却可能限度額まで償却が終了した翌年から5年間で均等償却する方法によっております。

② 無形固定資産（リース資産を除く）

定額法を採用しております。

なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法を採用しております。

③ リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産については、リース期間を耐用年数とし残存価額を零として算定する定額法によっております。

④ 長期前払費用

契約内容に応じて均等償却しております。

なお、償却期間は契約期間によっております。

(4) 引当金の計上基準

① 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については、個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

② 賞与引当金

従業員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額を計上しております。

③ 役員退職慰労引当金

役員退職慰労金の支出に備えるため、役員退職慰労金内規に基づく期末要支給額を計上しております。

④ 転貸損失引当金

店舗転貸契約の残存期間に発生する損失に備えるため、支払義務のある賃料総額から転貸による見込賃料収入総額を控除した金額を計上しております。

⑤ 退職給付に係る会計処理の方法

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付見込額に基づき計上しております。

退職給付引当金及び退職給付費用の処理方法は以下のとおりです。

イ 退職給付見込額の期間帰属方法

退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当事業年度末までの期間に帰属させる方法については、給付算定式基準によっております。

ロ 数理計算上の差異の費用処理方法

発生年度に全額を費用処理しております。

(5) その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

① 退職給付に係る会計処理

退職給付に係る未認識数理計算上の差異、未認識過去勤務費用の会計処理の方法は、連結計算書類におけるこれらの会計処理の方法と異なっております。なお、退職給付に係る未認識数理計算上の差異、未認識過去勤務費用は発生しておりません。

② 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税抜方式によっております。なお、控除対象外消費税等は全額当事業年度の費用として計上しております。

3. 貸借対照表に関する注記

(1) 有形固定資産の減価償却累計額	8,230,138円
(2) 関係会社に対する金銭債権債務	
関係会社に対する短期金銭債権	621,853千円
関係会社に対する短期金銭債務	563,744千円
関係会社に対する長期金銭債権	1,136,332千円
(3) 担保提供資産と対応する債務	
① 担保提供資産	
建物	587,948千円
土地	3,623,720千円
投資有価証券	56,895千円
敷金及び保証金	543,362千円
計	4,811,926千円
② 対応する債務	
長期借入金	4,558,116千円
(4) 偶発債務	
(株)サリックスマーチンダイズシステムズ	
割賦契約に対する保証債務	212千円

4. 損益計算書に関する注記

- (1) 関係会社との取引高
 営業取引による取引高
 仕入高 5,131,651千円
 営業取引以外の取引による取引高 54,525千円

(2) 減損損失

当事業年度において、当社は以下の資産グループについて減損損失を計上致しました。

用途	種類	場所	減損損失 (千円)
店舗	建物及び構築物	東京都 (3件)	19,206
	工具器具備品	神奈川県 (1件)	
遊休資産	無形固定資産	埼玉県 (1件)	67

当社は、キャッシュ・フローを生み出す最小単位として店舗を基本単位として、また賃貸等不動産については物件単位毎にグルーピングしております。

営業活動から生ずる損益が継続してマイナスである資産グループのうち、割引前将来キャッシュ・フローの総額が帳簿価額に満たないものについて、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失(19,274千円)として特別損失に計上いたしました。

その内訳は、次のとおりであります。

店舗	
建物	18,276千円
工具器具備品	930千円
計	19,206千円
遊休資産	
電話加入権	67千円

なお、当資産グループの回収可能価額は使用価値により測定しており、将来キャッシュ・フローを2.67%で割引いて算定しております。

5. 株主資本等変動計算書に関する注記

自己株式に関する事項

株式の種類	当事業年度期首	増加	減少	当事業年度末
普通株式(株)	115,137	1,143	—	116,280

6. 税効果会計に関する注記

繰延税金資産の発生の主な原因別の内訳

(繰延税金資産)

減損損失	141,613千円
役員退職慰労引当金	97,141千円
退職給付引当金	52,255千円
賞与引当金	22,292千円
未払事業税・事業所税	11,076千円
投資有価証券評価損	7,575千円
貸倒引当金	1,415千円
転貸損失引当金	15,475千円
未払賞与	1,039千円
繰越欠損金	59,382千円
その他	3,766千円
繰延税金資産 小計	413,034千円
評価性引当額	△278,610千円
繰延税金資産 合計	134,424千円

7. リースにより使用する固定資産に関する注記

オペレーティング・リース取引（解約不能なもの）

未経過リース料

1年以内	42,840千円
1年超	94,470千円
合計	137,310千円

8. 関連当事者との取引に関する注記

(1) 親会社及び法人主要株主(会社等に限る)等

属性	会社等の名称	住所	資本金又は出資金(千円)	事業の内容又は職業	議決権等の所有(被所有)割合(%)	関連当事者との関係	取引内容	取引金額(千円)	科目	期末残高(千円)
主要株主	豊山開発㈱(注2)	埼玉県さいたま市中央区	40,000	建築業 生花販売業 不動産賃貸業	被所有 直接 11.29	—	取引内容以下の項目については、「(2) 役員及び個人主要株主等」の欄に記載しております。			

(2) 役員及び個人主要株主等

属性	会社等の名称	住所	資本金又は出資金(千円)	事業の内容又は職業	議決権等の所有(被所有)割合(%)	関連当事者との関係	取引内容	取引金額(千円)	科目	期末残高(千円)
役員及びその近親者が議決権の過半数を所有している会社等(当該会社等の子会社を含む)	豊山開発㈱(注2)	埼玉県さいたま市中央区	40,000	建築業 生花販売業 不動産賃貸業	被所有 直接 11.29	—	不動産の賃借(注3)	40,200	前払費用 敷金及び保証金	3,618 24,100
							観葉植物レンタル(注4)	17,884	未払金	1,700
	㈱北与野エーステート(注6)	埼玉県さいたま市中央区	10,000	不動産賃貸業	被所有 直接 3.66	—	不動産の賃借(注3)	171,804	前払費用 敷金及び保証金	17,251 270,763
	㈱サリックストラベル(注7)	埼玉県さいたま市中央区	60,000	飲食店経営	被所有 直接 0.00	—	不動産の賃借(注3)	28,800	前払費用	2,592
							ロイヤルティ収入、暖簾店収入(注8)	19,700	敷金及び保証金 預り保証金	24,000 18,500
ゆたか建設㈱(注9)	埼玉県越谷市	40,000	建設業	被所有 直接 2.00	—	店舗の建設、改修(注5)	108,424	未払金	11,712	

※ 前事業年度において注記対象としていた株式会社書楽に対する貸付金については、当事業年度中に債権譲渡を行いました。
 なお、当該貸付金に対して設定していた貸倒引当金の充当により、当該債権譲渡による損益への影響は軽微であります。

(3) 子会社等

属性	会社等の名称	住所	資本金又は出資金(千円)	事業の内容又は職業	議決権等の所有(被所有)割合(%)	関係内容		取引内容	取引金額(千円)	科目	期末残高(千円)
						役員兼任等	事業上の関係				
子会社	㈱サリックス スマーチャン ダイブズシ ステムズ	茨城県 五霞町	100,000	食材加工販売業 運送業	所有 直接 100.0	兼任 1名	当社 仕入 先	食材の仕入等(注10) 資金の貸付(注12) 長期貸付金の返済	5,181,678 100,000 101,370	買掛金 未払金 短期貸付金 長期貸付金	455,423 35,818 496,784 1,097,679
子会社	㈱相澤 (注11)	千葉県 野田市	16,000	酒類販売業	所有 間接 100.0	なし	当社 仕入 先			短期貸付金 長期貸付金	120,052 38,653

(取引条件及び取引条件の決定方針等)

- (注) 1. 上記の取引金額には消費税等は含まず、科目の残高には消費税等を含みません。
2. 当社代表取締役社長柳 時機の近親者が豊山開発(株)の株式を100%直接所有しております。
 3. 当社は店舗不動産(3店舗)を豊山開発(株)より、本社事務所及び店舗不動産(5店舗)を(株)北与野エステートより、店舗不動産(1店舗)を(株)サリックストラベルより賃借しております。不動産の賃借については、不動産鑑定及び近隣の取引実勢等を勘案し決定しております。
 4. 観葉植物のレンタルについて、価格その他の取引条件は、一般取引条件と同様に決定しております。
 5. 店舗の建築、改修については、見積内容を検討し価格交渉の上決定しております。なお、形式的には当社とリース会社との契約であるものの、実質的にはリース会社を経由した当社と豊山開発(株)との取引による金額が含まれております。
 6. 当社代表取締役社長柳 時機の近親者が(株)北与野エステートの株式を100%直接所有しております。
 7. 当社代表取締役社長柳 時機の近親者が(株)サリックストラベルの株式を100%直接所有しております。
 8. ロイヤルティ収入、暖簾店収入については、フランチャイズ加盟募集条件の範囲内で決定しております(売上高の1%)。
 9. 当社代表取締役社長柳 時機の近親者が(株)T-NETの株式を100%直接所有しており、(株)T-NETがゆたか建設(株)の株式を100%直接所有しております。
 10. 食材の仕入等は、市場の実勢価格を参考として取り決めております。
 11. (株)サリックススマーチャンダイブズシステムズが(株)相澤の株式を100%直接所有しております。
 12. 資金の貸付については、調達金利を勘案して利率を決定しております。

9. 1株当たり情報に関する注記

- (1) 1株当たり純資産額 257円88銭
(2) 1株当たり当期純利益 13円16銭

1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、次のとおりであります。

当期純利益	281,429千円
普通株主に帰属しない金額	一千円
普通株式に係る当期純利益	281,429千円
普通株式の期中平均株式数	21,388,679株

10. 重要な後発事象に関する注記

該当事項はありません。